

【奥多摩町】

■実施日時：令和4年9月20日（金）10：00～12：00

■参加部署：福祉保健課福祉係

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

（ひきこもり支援の中心部門）

○ 民生担当部門（福祉保健課福祉係）

- ・同課では、子ども家庭支援センター、地域包括支援センター、障害福祉の所管も担っており、福祉係は、社協や民生委員の窓口でもある。
- ・プラットフォーム構成員：係長、民生担当、保健師の3名体制。
他業務もあるため、ひきこもり支援に特化したものではない。

（町の動き）

- 人口が4,800人のため、町民の状況は把握しやすく、役場も顔が見える関係。
- コロナワクチン集団接種会場などで、最近の様子を聞くことができる。
- ひきこもりに特化した相談先ではなく、ワンストップ窓口として様々な相談ができる窓口で、ひきこもりの相談を受け付けている。

（学校との連携）

- ・西多摩くらしの相談センターと連携し、福祉会館で週一回学習支援を行っている。
今後は、学校で行えるように検討中。
- ・教育相談ではOBとSSWを配置し、週一回情報共有をしている。

（地域包括支援センター）

- ・月1回地域包括ケア会議で、病院も含めて、ひきこもりについての話す機会はある。
- ・地域柄、近隣住民の顔がわかっているため、何かあると隣人が相談に来ることもある。

（家族会）

- ・ひきこもりに特化した家族会はないが、町では認知症の介護に関する家族会を定期的に行っており、カフェなどに集まって実施している。ご家族が抱えている問題は、介護やひきこもり、子育てなど、それぞれの分野の家族会というより、家庭で抱えている悩みを相談できるような家族会の形があってもいいのかなと考えており、一か所で多岐にわたる悩みを共有できる場所にできないか検討している。

（西多摩くらしの相談センター）

- ・西多摩地域の町村（瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）にお住まいの方向けの自立相談支援などを受けている窓口。ひきこもりなどの相談も可能。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

- ・ひきこもり窓口の明確化は普及啓発的な意味合いも含まれるため、改めて窓口の明確化を提案
- ・ひきこもりに関する民生委員向け研修の情報提供